

基礎製図（機械知能コース）後半 第2回課題

2010年6月7日（月）

三浦，川田，松井，今泉，加藤，大内（TA），吉村（TA）

課題内容：「テープカッター」の部品・アセンブリ・図面ドキュメントの作成（別紙配布資料参照）

提出物：

・電子ファイル

本体.SLDPRT	（部品ドキュメント）
巻芯.SLDPRT	（部品ドキュメント）
刃.SLDPRT	（部品ドキュメント）
テープカッター組立.SLDASM	（アセンブリドキュメント）
テープカッター組立.PDF	（図面ドキュメント： / / / の順に4枚のシートで構成）

TA にメールで提出

学籍番号 50810002 ~ 50810087 → 大内 TA に提出

学籍番号 50810090 以降，他コース，過年度生 → 吉村 TA に提出

各ファイルの完成時などに適宜送信する．なお，出席・進捗状況確認のため，各演習日に最低一度は送信すること．

・印刷物

上記 を印刷し，学生実験レポート用の表紙を付け（最上欄：「基礎製図」，題目：「テープカッター」，所属，学籍番号，氏名を明記），A4 縦置き（表紙）の左上・横置き（図面）の右上1箇所をホチキスで止めたもの

提出期限：6月18日（月）の演習終了時刻（15:55）

添削・返却について：

第1回課題（コーヒーミル）と同様に，提出された印刷版図面を添削指導し，一旦返却する．添削された図面を見ながら必要な修正をした後，修正版 PDF ファイルを提出するとともに，印刷版図面（最初に提出し添削を受けた図面）を再提出すること（修正版 PDF ファイルの印刷は不要）．

注意事項：

今回の課題の主目的は，ある製品を作る（モデリングする）のに必要な手順，すなわち，どのような順番でどのような操作をしていけば良いのか，を考えること（ストーリー作り）である．モデリングでは，最初に製品の基本となる部分を作り，その後詳細部分の加工をしていくことになるので，その製品で何が最も重要な部分か，そして次はどこかを考えるストーリー作りが必要となる．ストーリーが作れば，基本的には後はそれに従ってモデリングしていけば良いだけである．もしモデリングがうまくいかない場合は，ストーリーが適切に作られているかを再度検討する必要がある．それほどストーリー作りは重要なプロセスである．したがって，今回の課題ではストーリーをよく考えることに力を入れてほしい．「次に何をして良いかわからない」と質問する前に，自分の頭で十分に考え抜くこと．

なお，今回の課題に必要な操作（押し出しカット，フィレット，・・・）は全てこれまでの演習で既に扱ってきている．ある操作について質問がある場合，まず教科書を見直してみることに．

以上